

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間 効果額合計 (千円)	取組の概要		
							28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	区分	28年度 (千円)	29年度 (千円)	30年度 (千円)	31年度 (千円)			32年度 (千円)	
I 病院機能確保について	④地域の特性を踏まえた病院	○患者アンケートの実施	27	外来・入院患者アンケートの実施	アンケート回数(回)	0	1 0	1 1	1	2	2						現在設置している「患者さま意見箱」の取組と併せて外来・入院患者さまに対して定期的にアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めます。 再編・ネットワーク化による急性期機能の集約化を前提とした回復期機能の提供、または、現在の病床数に加えて回復期機能を担うため増床するなど、今後、地域医療構想を踏まえて、回復期機能をどのように担っていくかを検討します。			
			28	患者満足度の向上	患者満足度(%)	-	-	調査実施 準備中	前年+2.5%	前年+2.5%	前年+2.5%									
		○回復期機能の検討	29	回復期機能の検討		-	-	名張市立病院改革検討委員会・経営会議・地域医療構想調整会議で検討、平成32年度までに方向性を決定												
											小計	3,450	3,450	3,450	3,450	3,000	16,800			
											小計	4,162	6,194				10,356			
II 医療従事者の確保について	①人材の確保	○医師の確保	30	常勤医師の確保(産婦人科医師を除く)		-	維持 維持	⇒	⇒	⇒	⇒						大学をはじめ関係機関への継続した働きかけや、寄附講座の継続等によって常勤医師を引き続き確保します。 職種間の役割分担、医師事務作業補助者の増員、救急当直等に従事する非常勤医師の確保によって、医師の本来業務である医療行為に専念しやすい環境づくりを行い、負担軽減を図ります。 看護師等の産休や育休をはじめ、ワークライフバランスに適切に対応できるよう、医療現場の実態や必要性に応じた柔軟な定数管理、多様な雇用形態、適正な処遇により、医療従事者の確保を図ります。 病院事業の経営改革に強い意識を持ち経営感覚に富む人材を、外部からの採用も含めて、幹部に登用することを検討します。			
			○医師の負担軽減	31	医師事務作業補助者の増員	医師事務作業補助者数(人)	2	3 3	3 3	4	4	4	Ⅲ体制整備	▲1,800 ▲1,800	0 0	▲1,800 0		0 0	▲3,600 ▲1,800	
		32		医師の負担軽減策の拡充	平均時間外・休日勤務時間数(時間/月)	68.6	66.0 65.5	64.0 71.5	62.0	60.0	58.0	Ⅱ費用削減	3,882 26,988	2,986 ▲49,641	2,986	2,986		2,986	15,826 ▲22,653	
		○医療従事者の確保	33	離職防止策の拡充	離職率(%)	10.2	10.0 8.0	9.8 7.0	9.6	9.4	9.2									
			34	多様な雇用形態・処遇																
		35	ワークライフバランスの確保	年次有給休暇取得率(%)	9.7	10.0 11.0	10.3 15.8	10.6	10.9	11.2										
		36	経営感覚に富む人材の登用		-	検討 検討中	⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒										
												小計	2,082	2,986	1,186	2,986	2,986	12,226		
												小計	25,188	▲49,641				▲24,453		
	②人材の育成	○人事評価制度の導入	37	人事評価制度の導入		-	-	医療職実施 準備中	⇒	⇒	⇒							実績に応じた給与体系導入の前提として、客観的に職員の実績を評価でき、かつ公平性・透明性を備えた人事評価制度を構築、導入します。 臨床研修プログラムの充実や病院説明会への積極的な参加により、初期研修医や新専門医制度による専攻医、医学生の積極的な受入につなげます。 医師、技師、看護師等の医療従事者が自らの専門性や知識の向上を図るため、認定看護師など外部研修や各種学会へ参加することを促進します。 健全な病院経営を推進するため、各種専門研修への参加を促進するなど、病院業務に精通した事務職員の養成に努めるとともに、専門性を向上するためプロパー職員の採用を検討します。		
			○初期研修医・専門研修医・医学生の受入	38	初期研修医の確保	初期研修医人数(人)	8	6 6	6 6	6	6	6	Ⅲ体制整備	24,000	0	0	0		0	24,000
				39	病院説明会への積極参加	説明会参加回数(回)	4	4 4	4 4	4	4	4								
			40	研修プログラムの充実		-	-	充実 検討中	⇒	⇒	⇒			24,000	0				24,000	
		○研修・専門性向上	41	外部研修・学会への積極参加	研修参加回数(回)	403	410 390	415 309	420	425	430	Ⅲ体制整備	▲231 ▲200	▲165 2,673	▲165	▲165	▲165		▲891 2,473	
42			認定看護師の増加	認定看護師数(人)	3	4 4	4 4	6	7	8	Ⅲ体制整備	▲1,000 0	0 0	▲2,000	▲1,000	▲1,000	▲5,000 0			
43		事務局職員の各種専門研修への参加	研修参加回数(回)	22	24 34	26 23	28	30	32	Ⅲ体制整備	▲36 ▲38	▲36 198	▲36	▲36	▲36	▲180 160				
											小計	22,733	▲201	▲2,201	▲1,201	▲1,201	17,929			
											小計	23,762	2,871				26,633			
III 経営の効率化について	①収入増加	○病床利用率の向上	44	看護部門と診療部門の連携強化	入院期間Ⅱでの退院患者割合(%)	54.1	56.0 44.9	58.0 45.7	60.0	62.5	65.0	I 収益向上	241,000 ▲69,724	51,000 124,897	81,000	101,000	86,000	560,000 55,173		
			45	病床の有効利用(病診連携強化に伴う患者増を含む)	病床利用率(%)	79.1	82.5 81.2	83.5 87.2	84.5	85.0	85.0									
		○診療報酬制度への対応	46	レセプトの精度向上	査定率(%)	0.34	0.32 0.32	0.30 0.38	0.28	0.26	0.24	I 収益向上	900 1,310	900 ▲1,432	900	900	900	4,500 ▲122		
			47	新たな施設基準の取得	新規届出件数(件/年)	-	4 12	3 2	診療報酬改定による新基準も含めて施設基準を取得			I 収益向上	3,800 15,232	8,700 3,511	0	0	0	12,500 18,743		
			48	医学指導料・管理料の算定率向上		-	推進 推進実施	⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒	I 収益向上	600 1,394	600 1,378	800	0	0	2,000 2,772		
		49	手数料及び使用料の見直し		-	-	検討・実 検討中	⇒	⇒	⇒	I 収益向上	0 0	500 0	5,000	0	0	5,500 0			
		○保有する資産の有効利用	50	検査件数の増加(CT・MRI)	検査件数(件)	16,458	16,858 15,810	17,258 16,638	17,658	18,058	18,458	I 収益向上	6,800 ▲11,016	6,800 14,076	6,800	6,800	6,800	34,000 3,060		
			51	手術件数の増加(手術室実施分のみ)	手術件数(件)	1,202	1,300 1,183	1,460 1,307	1,620	1,620	1,620	I 収益向上	No.44～45の効果額に含む							
		52	手術室の運用改善		-	維持 維持	⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒										
		53	外科系医師の確保		-	維持 維持	⇒ ⇒	⇒	⇒	⇒										
		○未収金の回収	54	未収金の積極的な回収	未収金回収額(千円)	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	I 収益向上	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000		
55	回収困難事案の債権回収業者への委託			-	2,278	2,621				I 収益向上	2,278	2,621				4,899				
											小計	255,100	70,500	96,500	110,700	95,700	628,500			
											小計	▲60,526	145,051				84,525			

大項目	中項目	小項目	No	取組事項	評価指標等	実績数値 (27年度)	目標数値(上段)／実績数値(下段)					目標効果額(上段)／実績効果額(下段)(対前年度)					5年間 効果額合計 (千円)	取組の概要	
							28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	区分	28年度 (千円)	29年度 (千円)	30年度 (千円)	31年度 (千円)			32年度 (千円)
直V しに 経 営 形 態 の 見		○経営形態の見直し	78	経営形態の見直しについての検討		-	名張市立病院改革院内検討委員会、名張市立病院経営会議、名張市立病院改革検討委員会で検討、平成32年度までに方向性を決定										経営形態の見直しについては、さらなる経営の効率化や病院機能・サービスの質の向上などを介護老人保健施設ゆりの里及び看護専門学校も含め検討する必要があるため、引き続き「再編・ネットワーク化」の協議と並行して、より良い経営の在り方を検討します。		
							検討中	⇒											
							小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
							小計	0	0	0	0	0	0	0	0				

【Ⅰ】収益向上効果額 合計(+)	280,382	79,536	107,524	116,725	103,276	687,443
	▲ 36,985	150,107				113,122
【Ⅱ】費用削減効果額 合計(+)	6,290	5,394	5,394	5,394	5,394	27,866
	18,773	▲ 59,271				▲ 40,498
【Ⅲ】体制・機能整備等による費用増加額 合計(-)	3,833	▲ 23,001	▲ 21,101	▲ 1,201	▲ 1,201	▲ 42,671
	16,832	6,861				23,693
【Ⅳ】第2次改革プラン実施計画による収支効果額 (【Ⅰ】+【Ⅱ】+【Ⅲ】)	290,505	61,929	91,817	120,918	107,469	672,638
	▲ 1,380	97,697				96,317
【Ⅴ】収益増に伴う経費及びその他経常的収支 合計(±)	▲ 111,505	9,071	25,183	3,082	▲ 19,469	▲ 93,638
	2,074	▲ 175,575				▲ 173,501
第2次改革プラン実施による収支効果額(【Ⅳ】+【Ⅴ】) ※ P.2 収支計画における医業損益の前年度からの改善額	179,000	71,000	117,000	124,000	88,000	579,000
	694	▲ 77,878				▲ 77,184

※ 収支効果額には、No.21「産婦人科の開設」、No.66「更新計画書の策定」、No.67「購入計画書の策定」、No.69「検査機能の充実」に要する費用は、金額が定まっていないため、現時点では計上していません。
 ※ ゆりの里・看護専門学校の取組に係る目標効果額(No.70～71、75)については、医業収支に含まれないため、「第2次改革プラン実施による収支効果額(【Ⅳ】+【Ⅴ】)」には計上していません。